

1. Surface Preparation

〈下地の準備〉

下地コンクリート面は点検、清掃され、健全なコンクリート表面状態として下さい。
そして、コンクリート面を接着用プライマーで処理して下さい。



NSハイフレックスHF-1000 日本化成(株) 3倍液 (原液1:水2)を刷毛にて塗布して下さい。
同様にストーン接着面にも吸水調整のため、接着用プライマーを塗布して下さい。

2. Prepare Your Work Area

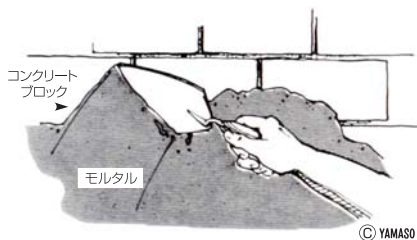
〈石の準備〉

ストーンが施工された場合にどんな具合になるかをみるために先ず、施工前にストーンを少し作業場所で並べてみて下さい。
全体的にバランスやコントラストを調整して下さい。小さいストーンは大きいストーンのとなりに、凹凸のあるものは平らなストーンのとなり、厚いものは薄いものとなりして下さい。

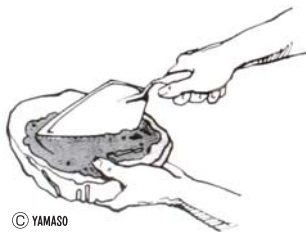
3. Mortar

〈モルタル〉

NS-STモルタル 日本化成(株) (プレミックスポリマーセメントモルタル)を水練りして下さい。粉体20kgに対して水を約4ℓ混入し(適正施工軟度に調整)ハンドマゼラーで攪拌して下さい。



モルタルを下地に塗布します。ストーンを貼付する前にモルタルが固くなってしまわないように0.5~1m以上はモルタルを塗り広げないで下さい。



© YAMASO

ストーンの内にもモルタルを塗って下さい。ストーンの中心にむけて少し高くなるように塗って下さい。

改良圧着貼り工法を採用して下さい。

4. Applying Cultured Stone®

〈貼付作業〉

コーナー部分がある場合には先ずコーナーから施工して下さい。
コーナーピースには長いサイドと短いサイドがありますので、これらが交互になるように施工して下さい。



© YAMASO

© YAMASO

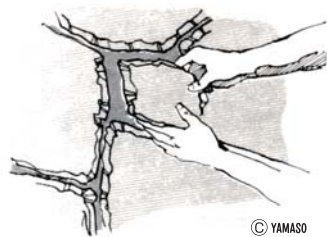
コーナーピースを施工した後、フラットピースを壁面の中央にむけて貼っていきます。

ストーンをカートンから取り出す時は1つのカートンからではなく、いつも2~3のカートンから取り出すようにして下さい。

ストーンを下地に押しつける時は

目地部分には貼り付けモルタルが必ずストーンの間からはみ出してくる位まで充分押しつけます。

大きいストーンをまず貼り、その後、その間に小さいストーンをはめ込んでいって下さい。



© YAMASO

Note: 〈ご注意〉

細長いストーンは長い片を横にして水平に施工して下さい。
コブルフィールド、ライムストーン、カントリーレッジ、サザンレッジ、ドライスタックレッジ

5. Cutting & Trimming

〈サイズの調整〉

ストーンをうまく納めるために、ストーンを削ったり、割ったりして大きさを調整して下さい。削る場合はなるべく厚みのうすい部分を削るようにして下さい。割る場合は、割るストーンを手を持って裏側をたたくように割って下さい。またカートンの中に残ったストーンのかげらなども使用して、大きいストーンどうしの間を埋めることもできます。



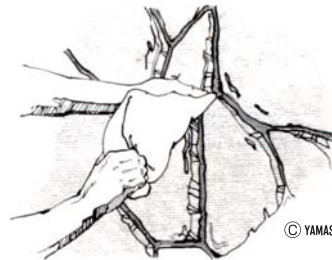
© YAMASO

6. Grouting & Finishing Joints

〈目地詰め・目地仕上げ〉

目地巾は20%以上にならないようにできるだけ狭くして下さい。また、ストーンの厚みの3分の2以上まで目地を入れて下さい。

目地部分には目地モルタルを補充して下さい。特に目地でのモルタルの盛り上がりがない場所には充分補充するようにして下さい。補充には目地詰めバッグ(別売)が便利です。

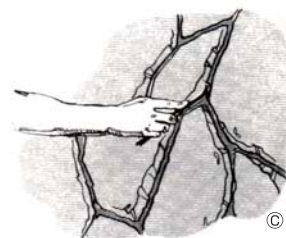


© YAMASO

●プロフィットレッジ、ヨーロピアンキャッスル等の目地無し施工のストーンは、ストーン側面のモルタルグループ(溝)までモルタルがはみ出るよう充分に押しつけて下さい。目地詰めは不要です。

〈目地仕上げ〉

目地モルタルがしまってきたら(しまり時間は下地面や気候によって異なります。)棒状のもので、余分なモルタルはかき落として押さえて下さい。その後ササラ等で仕上げして下さい。



© YAMASO

作業中にストーンの表面に付着したモルタルは乾いてからササラで取り除いて下さい。

- **カルチャードストーンシーラー** 外装にカルチャードストーン、カルチャードブリックを施工した場合、必ずシーラーを塗布して下さい。(ハケ、ローラー)浸透性ですので、塗布しても外観上の変化はありません。(ケミストップ・CM-RW/浸透性防水剤)
- **グラウトバッグ**(目地詰めバッグ)ストーンとストーンの間目地を詰める際には大変便利なバッグです。(アメリカ製)
- カルチャードストーン、ブリックはそれぞれに色調、形状にバラツキがあり掲載写真と微妙に違います。提出させていただく見本は現物ロットからピックアップしますが、納入されるロットと若干の違いがある場合もありますので、ご了承下さい。
- カタログの掲載写真は、実物に忠実に色合いの再現を心がけていますが、印刷の都合上、多少異なる場合もあります。
- ご注文の際には、サンプルで商品の色合い、形状をご確認いただき、合わせてカタログで全体の色調もご確認下さい。
- 施工の際には、仕上りの色調、テクスチャのバランスを良くするために、数カートンから商品を取り出して貼り合わせて下さい。